



自律と共生へ向かう高学年の歩み

日頃より、本校の教育活動への温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、4～6年生を対象に実施した「学校評価アンケート」の結果を分析いたしました。高学年らしい頼もしさと、この時期特有の心の揺れが見えてきましたので、その内容を共有させていただきます。

4～6年生児童アンケート結果と分析

アンケート項目	そう思う %	少しそう 思う%	あまりそ う思わな い%	そう思わ ない%
1 自分の気持ちや考え、用件をきちんと伝えることができますか。	50.0	40.5	9.5	0
2 先生や友達の話をよく聞いていますか。	81.0	19.0	0	0
3 授業で、みんなで考えたり、話し合ったりする活動に、進んで取り組んでいますか。	50.0	35.7	14.3	0
4 授業で学習したことはよくわかりますか。	76.2	19.0	4.8	0
5 家庭学習を毎日していますか。(宿題・塾も含む)*1週間の平均で考えてください。	2時間以上:23.8 1時間30分程度:16.7 1時間程度:45.2 30分程度:9.5 ほとんどしていない:4.8			
6 夢や目標をもって、進んで勉強していますか。	35.7	40.5	21.4	2.4
7 学校行事や委員会、通学団でみんなと協力して活動していますか。	61.9	31.0	7.1	0
8 友達と仲良くしていますか。	85.7	14.3	0	0
9 悩みや困ったことがあった時、相談できる人がいますか。	71.4	21.4	4.8	2.4
10 今、学校で友達にいやなことを言われたり、されたりすることはありますか。	ありません 88.1		あります 11.9	
11 外で元気に遊んで、体力をつけていますか。	59.5	35.7	4.8	0
12 自分の健康の事を考えて、食事や生活をしていますか。	64.3	28.6	7.1	0
13 友達、クラス、まわりのことを考えて、安全に行動するようにしていますか。	63.3	31.0	4.8	0
14 家族に学校のことを話していますか。	45.2	31.0	21.4	2.4

🌻 本校の強み：学校を支える「自治の心」

アンケートの記述欄には、学校をより良くするための素晴らしいアイデアが溢れていました。

- 「挨拶を元気よくする」「右側通行を意識する」といった規範意識。
- 「いじめがあったら助ける」「全校生徒で遊ぶ計画を立てたい」といった、他者や学校全体を思いやる言葉。

委員会活動や行事への協力についても、多くの児童が前向きに回答しています。自分たちの手で生活を豊かにしようとする「自治の力」は、本校の高学年の大きな誇りです。

🔍 今後の課題：人間関係の「深まり」と「丁寧さ」

心身ともに成長する高学年は、友人関係がより密接になる一方で、言葉の重みや距離感に課題も見られます。

- 言葉のやり取り：「いじり」や「あだ名」など、親しさの裏側で相手が傷ついているケースが散見されました。
- 相談へのためらい：悩みを一人で抱え込んでしまう傾向も見受けられます。

🚀 これからの取り組み：心のブレーキとアクセル

これらの実態を踏まえ、学校では以下の指導に力を入れてまいります。

1. 「親しき仲にも礼儀あり」の再確認 「相手が嫌だと言ったら、それはもう遊びではない」という明確な基準を共有します。相手の立場に立った言葉選びや、SNS 等も含めたコミュニケーションのあり方について、授業や日常指導を通じて繰り返し伝えていきます。
2. 相談しやすい体制の充実 「相談できる人がいない」と感じる児童を一人も残さないよう、担任だけでなく、養護教諭やスクールカウンセラーも含めた「チーム学校」で子どもたちのサインをキャッチし、心の居場所を確保します。
3. 主体的な学びへの支援 学習を「宿題だからやる」という受動的なものから、「自分の夢や目標に繋がるもの」へと変えていけるよう、キャリア教育（生き方教育）の視点を取り入れた授業改善を進めます。

高学年の時期は、大人への第一歩を踏み出す大切な季節です。時に失敗しながらも、自律した個人として成長できるよう、学校と家庭で手を携えて歩いていければ幸いです。